

開放型病床利用率



■解説

開放型病床とは、かかりつけ医（開放型病床登録医）と当院の医師とが共同して、通院から入院、退院までの一貫した診療を行い、継続的に高度の医療、検査、手術などを受けていただくための専用の病床です。

小松市民病院には、平成元年から30床設置されています。

算式

【開放型病床利用率】(分子／分母) × 100

分子: 在院患者延数

分母: 30床 × 当月の日数

単位

%

期間

年間

	開放型病床利用率
平成30年度	56.8%
令和元年度	75.8%
令和2年度	52.8%